社会福祉法人長野県社会福祉事業団
平成24年8月31日発行

事業団だより

やまなみ

2012 夏 Vol.7

【特集記事】
水内荘創立50周年　地域とともに歩む
【連載記事】
事業所リレートーク
チャレンジ・アクション
『職員レク大会を通じて』
つれづれ福祉
『焼き芋焼酎「なかなかてぇへんだ」大好評販売中!!』
平成24年度組織概要／平成24年度事業計画・収支予算書
平成23年度事業報告・収支決算書／人事異動／プレゼント

長野市豊野町「りんごの丘公園（旧水内荘跡地）」から新幹線高架橋を望む

事業団の下半期事業に思うこと

長野県社会福祉事業団 理事長　辰野　恒雄

九州地方を襲った豪雨の後は、大変な猛暑が続きました。皆様のお近くではいかがだったでしょうか。

山国信州もこの夏は暑い毎日でしたが、処暑を過ぎ、朝夕は涼風が吹き始め、山間部では秋の気配を感ずる今日この頃です。

当事業団も設立から47年が経過し、近年の事業拡大に伴い職員数も600人に手の届く規模となりました。

今年度の主要事業の一つは、利用者がそれぞれの地域で豊かに暮らすことを目指して「信州自然的暮らしの創造」をスローガンに17事業所の職員が一丸となって「第2次長期構想」（平成24～28年度）を策定中です。

二つ目は、当事業団初の試みとして、紅葉の中央アルプスの麓で「駒ヶ根高原ふくしセミナー」を県内6団体共催により開催します。

このセミナーは、当事者参加型を特徴としており、昨年から長野大学と共同で調査研究したグループホーム利用者の暮らしの実態・課題等の報告やシンポジウムの他、当事者による料理コンテストや写真コンテスト、駅伝大会を行います。特に駅伝大会は、「信州駒天駅伝」と銘打って昨年のプレセミナーで実施しており、回を重ねる中で、今後この地域の「風物詩」の一つになれれば…、と期待しているところです。

三つ目は、障害者総合支援法がいよいよ施行されることになりました。本法の特徴である相談支援事業は早々複数の事業所で開始しました。特に障害者総合支援センター「きらりあ」は県南部上伊那圏域の基幹センターとして県北部長野圏域の「歩楽里」と共に相談支援の環境を整備しつつ、圏域の期待に応えていきます。

障害福祉サービスは、自立支援協議会の運営等制度改正に伴い、ますます地域の関係事業所・団体が皆で考え、行動することが要求されています。事業団は、地域のネットワーク化に一層尽力する所存ですので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

世紀の天体ショー!!

写真撮影：ほっとワークスみのわ支援員
吉原一善
撮影場所：ほっとワークス・みのわ
（上伊那郡箕輪町）

「金環日食（5/21）」、「金星の太陽面通過（6/6）」と大きな天文現象が相次いだ今年。長野県内でも多くの地点で観察することができました。事業団各事業所でも慌てて日食グラスを準備し、利用者・職員共に「世紀の天体ショー」を楽しみました。

祝 水内荘創立50周年

地域とともに歩む

水内荘の主な歩み

これから	施設福祉から在宅福祉へ									施設の社会化								施設生活充実期				手作り・手探り期												
H.24	H.23	H.19	H.18	H.17	H.16	H.9	H.8	H.4	S.63	S.61	S.60	S.59	S.58	S.56	S.55		S.51	S.50	S.49	S.41		S.40	S.37
障害者就労支援センター「小春日和」開設（定員20名）	**障害者自立支援法新事業体系移行（生活介護・夜間支援）入所定員減（40名）**	多機能型事業所「八雲日中活動総合センター」開設（定員20名）	通所授産施設「八雲作業所」開設（定員20名）	長野市より「豊野こぶし共同作業所」委託（現「長野市地域活動支援センターこぶし」）	長野圏域障害者総合支援センター「歩楽里」開設	第1回「八雲展」（陶芸作品点）開催	**共同住居「伊豆毛の家」開設（定員4名）**	**通所事業開始（定員10名）**	第1回水内荘公開講座開催	沖縄旅行実施（生まれて初めての飛行機体験）	浅野地区から泉平地区へ移転新築	第1回水輪祭（文化祭）開催	第6回国際スペシャルオリンピック夏季大会出場	第1回日本スペシャルオリンピック全国大会参加	第1回地域交流会（地域懇談会）開催	「水内荘だより」創刊	水泳指導・海水浴（谷浜）実施	体育専科設置	第1回水内荘運動会開催	第1回就職者激励会開催	「巣立つ日を夢見て」（8ミリ自主記録映画）制作	**長野県社会福祉事業団が水内荘を運営**	**上水内郡福祉組合が水内荘を設置（定員70名）**

※赤字…水内荘関係事業所

水内荘のある長野市豊野町は市の北部に位置し、行政区域としての人口は約1万人。かつては「りんごとぶどうの町」として農業が主要産業でしたが、水田や畑の宅地化が進み長野市のベッドタウンとなっています。

そんな地域に水内荘は昭和37年に長野県内で最初、全国で6番目の知的障害者の入所更生施設として開設しました。当初から「援農」と称して農繁期には農家の農作業を手伝ったり、町内行事（町民運動会、文化祭、分館行事等）にも積極的に参加するなど地域との弛まぬ関係を築いてきました。昭和61年には地元民放局（信越放送）の『テレビ県民室』で地域との交流の様子が紹介されました。

平成17年「水内荘基本構想」を策定し、地域生活移行者の目標数値を定めるとともに、日中活動支援事業所も年表に掲げたとおり拡充しました。

とりわけ、就労継続事業所にあっては北信地方の食文化を参考にし、地産地消型の作業種（うどん・おやきの製造）を導入し、地域にPRしました。

結果、昨年（平成23年）7月には入所定員を70名から40名に減員、共同生活住居は13箇所となり、60名の利用者が各々の住居で地域生活を満喫しています。さらに地域福祉サービスとして施設の資源（体育館や会議室、喫茶スペース等）を地域住民やボランティアグループ等に開放したり、実習生やボランティアの受け入れも積極的に行うなど地域との新たな関係作りを模索中です。

今後の水内荘の大きな課題は、利用者の高齢化に伴う身体機能の低下が挙げられます。今までの50年の歩みを検証しつつ、これからの50年を見据え、行政や障害福祉サービス事業所、NPO法人等関係機関との連携、協力はもちろん、地域とともに高齢知的障害者支援のあり方等について検討していきます。

手作り・手探り期

耕す

「『この道に生涯を捧げる強い意志のある者だけ集まれ！』との下に糾合された集団だけに熱意は溢れるほど持ってはいても、日々新しい事態に直面し、戸惑い、その都度、職員会議で新しい道を模索した。文字どおり、手探りの出発であった」（事業団「20年のあゆみ」より）の記載のとおり、県内唯一の知的障害者施設（定員70人）として開設されましたが、規範とするものがなく、試行錯誤の繰り返しでした。

当時は高度経済成長時期で求人の要請も多く、職業訓練や自立更生支援を優先した結果、開設から昭和44年末までの8年間に就職78人、家庭復帰43人と更生施設としての役割を大いに発揮しました。

施設生活充実期

援農

開設当初は平均年齢21・7歳でスタートした水内荘ですが、当時の新聞記事の内容からも明らかなように地元農家の農作業を援助する援農作業が水内荘と地域との関係作りに果たした役割は計り知れません。

地域の理解を得るには農家の手伝いをすること（ギブアンドテイクの関係）が良いのではということから、援農作業がスタートしました。

農繁期にはほとんどの利用者が地元農家に出向き、りんご畑の草刈りをはじめ玉ねぎの収穫、田植え、稲刈り、脱穀、りんごや梨の収穫等といった一連の農作業に各々の持てる力を発揮しました。利用者にとっては「ありがとう！　おかげで仕事の段取りがついたよ」との農家からの感謝のことばが何よりも嬉しく、加えて畑や田んぼでのお茶とおこびれ（お菓子や漬物等）が楽しみでした。

利用者の高齢化・重度化に伴い順に規模を縮小しましたが、約40年間続きました。

援農

貴重な社会参加

豊野町の精薄施設「水内荘」

手不足、強まる期待

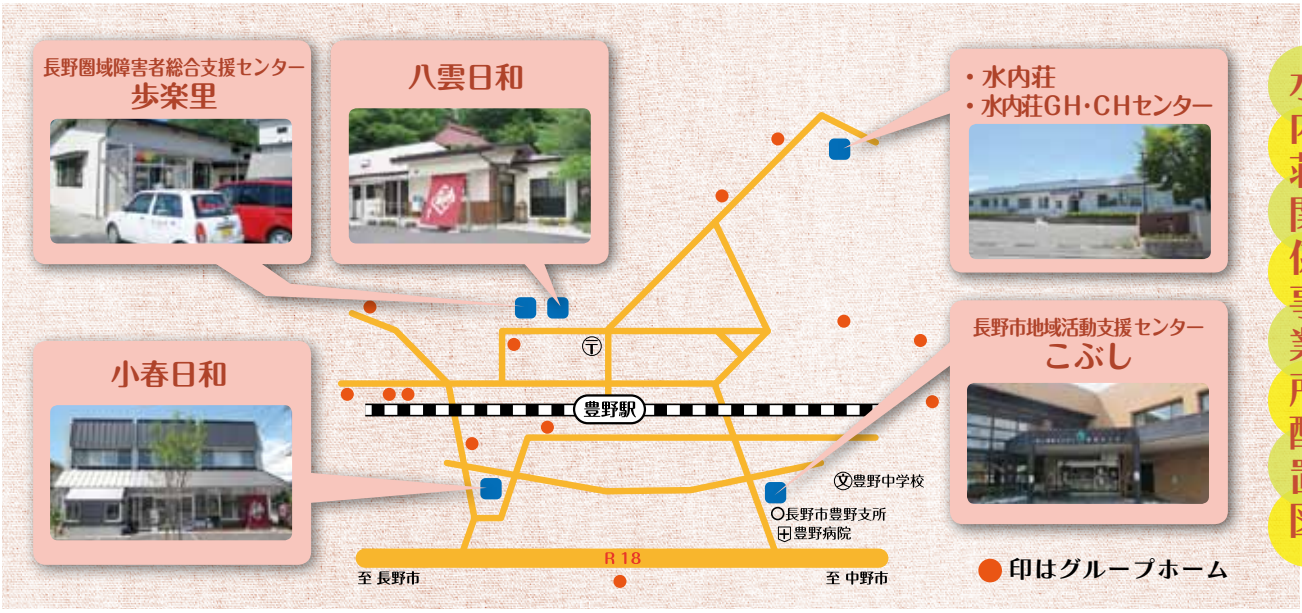
他施設からも注目

施設の社会化

福祉・スポーツ文化の発信

昭和50年より体育専科の職員を配置し、「健康増進、体位向上」を目指しました。「豊野町民運動会には全員参加して、整然とした行動は町民から賛辞が送られた」（事業団「20年のあゆみ」より）と記載されています。やがて、市民プールでの水泳指導や谷浜海岸での海水浴を開始し、水内荘の夏の恒例行事となりました。また、56年第1回日本スペシャルオリンピック全国大会（神奈川県藤澤市、全員）、58年第6回国際スペシャルオリンピック夏季大会（アメリカ、選手5名）にも積極的に参加し、昭和59年には「ボールが弾む水内荘」のタイトルで地元民放局（長野放送）により実践ぶりが放映されました。一方文化面では、音楽クラブや演劇クラブが、昭和59年から始まった「水輪祭」（文化祭）での発表に止まらず、町民文化祭、地元小学校音楽会、県施設大会等でも活躍し、地元豊野町の福祉文化醸成の一翼を担いました。

水内荘関係事業所配置図



施設福祉から在宅福祉へ

地域生活移行と新たな事業展開

平成8年長野市では初の知的障害者グループホーム「伊豆毛の家」を地元住民の理解と協力のもと開設しました。現在13ホーム60名が利用しています。

保護者、家族、職員の心配をよそに、ある利用者は県施設大会で「『伊豆毛の家』の生活がいいので、年をとっても老人ホームに入るのではなく、ここで一生暮らしたい」と堂々と意見発表しました。

在宅障害者支援事業では、平成4年水内荘通所事業を皮切りに、平成16年事業団初の居宅介護事業所「歩楽里」を開設し、障害児等へのセーフティネット機能を強化しました。

また、グループホーム移行者を主な対象とする日中活動の場の整備も進みました。平成18年「八雲日和」では北信濃の食文化であるうどん、おやきの製造販売をメインに地元住民やこどもたちへの「陶芸教室」等も行いました。今春（平成24年）には、姉妹事業所となる「小春日和」を立ち上げ軽食喫茶『かまどカフェ』をオープンしました。

さらに拡げよう！〝みのちの輪〟

水内荘開設50年の歴史は、先述のとおり時代の要請等に応じて豊野町を拠点にグループホーム事業、居宅介護事業、日中活動支援事業等の事業を展開してきました。

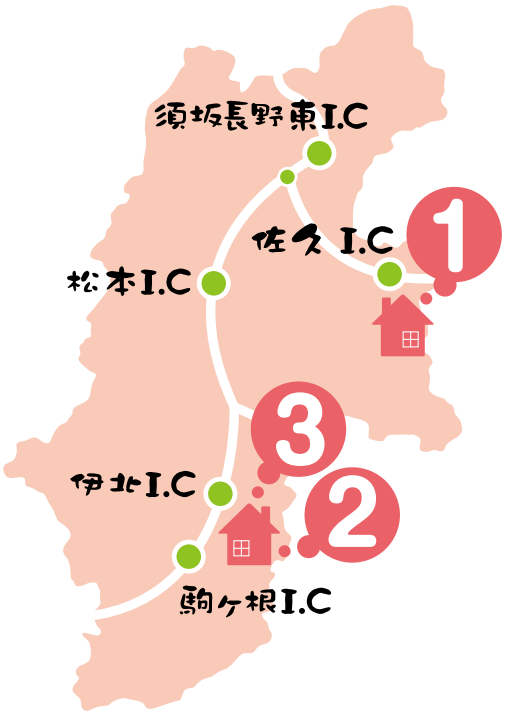
サービス形態は変われど、水内荘グループ事業所のサービスを継続利用している方々は、年々年を重ねてきました。

「年老いてもできるだけ住み慣れた場所で、顔なじみの関係のもとで楽しく、元気に暮らしたい」という利用者の声に応えるべく新たな支援体制についての検討がはじまっています。

一方、利用者の高齢化・重度化によりここ十余年間地域住民との「援農」（地域住民と障害者のギブアンドテイクの繋がり）つながりは叶わぬ状況が続いています。「おはようございます」「こんにちは」「たっしゃかね」の言葉が交わせる関係、「『ささやかな暮らし』創り」の『リング』を、新たな50年に向け、福祉制度に頼るだけでなく、利用者、職員、家族、地域住民とともに探し続けていきます。（小島）

事業所リレートーク

各事業所それぞれの特徴と
現状・課題を紹介します。



❶ 障害者スポーツ支援センター　サンスポート佐久

長野県障害者福祉センター「サンアップル」の３番目のサテライトであるサンスポート佐久は、独自の体育施設を持っていないため、依頼先の施設やその地域にある体育施設に出向いて「出前スポーツ・運動教室」を行っています。他にも水泳等の定期教室やイベントとしてサッカーフェスティバル、人材の発掘・育成という点でサンスポート独自のボランティア制度である「サポートスタッフ講習会」も開催しています。

今年度の「サポートスタッフ講習会」では、地元大学のボランティアサークルや施設職員、スポーツインストラクターや、ライフワークで携わりたい一般の方々等、多方面から28名の参加をいただきました。現在「出前スポーツ・運動教室」だけでも年間270件（Ｈ23年度）を超えており、こうしたサポートスタッフの支えにより地域に根差しつつあります。

今後も障害のある人もない人も、地域みんなで楽しく運動ができる環境作りに努めたいと思います。　（三浦）

ピックアップ！西駒郷

平成23年度に新事業体系に移行した「西駒郷」の取り組みを、今号から連続して紹介します。

❷ 西駒郷駒ヶ根支援事業部　わーく西駒

～西駒会館の様子　利用者４人～

わーく西駒は23年度から就労継続支援Ａ型事業を開始し、24年度より単独事業所として運営を行っています。

「西駒会館」は、宿泊や食事の提供・売店での販売などのサービス業務と当施設のキーパー補助業務（清掃・洗濯等）を行っています。

宿泊には、お隣りの「こころの医療センターこまがね」の看護専門学校実習生や県の新任者研修の受け入れなど外部利用を積極的に受け入れています。

また、喫茶コーナーを設け、自立訓練（生活訓練）事業利用者の接客業体験の場にもなっています。

今後も、「西駒会館」は「働く」をキーワードに利用者が体験や知識を獲得しステップアップすることを目指します。

（清水）

❸ 西駒郷宮田支援事業部　わーく宮田

～クリーニング作業を通して～　利用者数13人～

働くことを通じて充実感・達成感を味わい、生活の充実や就労生活習慣を身につけることができるよう支援を行っています。企業・老人ホーム・旅館からのシーツや作業着、個人の布団や衣類など、毎日多くの洗濯物に囲まれながらの作業は年間約800万円の売り上げになります。

また、納受品を行っている旅館を利用しての暑気払いや忘年会は楽しみの一つで、その際に見学もさせていただき、日頃の作業の流れを実感しています。

皆様の布団、衣類をきれいにしようと利用者全員が元気にお待ちしています。　（玉井）

職員レク大会を通じて
～働きやすい事業団であるために～

7月7日（土）シャツが体にへばりつくような蒸し暑さの中、「第６回長野県社会福祉事業団職員レクリエーション大会」（以下「職員レク大会」と表記）が行われました。事業団職員が年に１回交流を深める機会として、午前中はソフトバレーで白熱した試合を展開し、午後は普段会えない仲間との昼食懇親会で楽しいひと時を過ごしました。

事業団は昨年、信濃学園と松本あさひ学園などを加え、現在17事業所となり、職員数も増加しました。一般的に、組織が大きくなるにつれて、事業所間での交流や関わりが薄れ、同じ組織内にいるのに顔の見えない関係となってしまうという側面もあります。

こういった状況を解消すべく、職員間の交流と帰属意識の醸成を図るため、平成19年度から職員レク大会を開催しています。年々参加者も増え、今年は１７０名を超える職員が集まり、盛大に開催されるとともに交流を深めました。

▲開会式の様子

スポーツを通じて

各事業所間の交流を目的に始めたこの大会ですが、スポーツを通して職場内の雰囲気が明るくなることを期待しています。中にはこのレク大会のために練習を重ねるチームもあり、仕事とは別に同じ目標に向かうことで意識の統一がしやすくなり、まとまりやすくなったとの声が聴かれたり、スポーツを通して普段職場ではなかなかみれない新たな一面を見ることができました。どんどん自分を出せる職場であれば職場の雰囲気も明るくなり、より働きやすくなるはずです。

参加者コメント

（アンケートより）

◆コメント①
初めて参加したが、ソフトバレーも懇親会も思ったより楽しむことができ、いろんな人と仲良くなれた。

◆コメント②
バレーが得意な人は楽しいかもしれないが、早くに負けちゃうと物足りない。でも、交流としてはスポーツを通して仲良くなれるので、毎年競技を変えるなどして年２回くらいやってほしい。

まとめ

この職員レク大会を通じて、普段あまり接することのない職員同士が交流を深め、事業所間で気軽に連絡を取り合えるような「横の繋がり」を強めて欲しいと思います。

「あの事業所ではこんな取り組みをしているからうちでも何かやろう」と向上心をもって仕事に臨み、互いに切磋琢磨していけるような、そんな人との繋がりを持てる組織であることがよりよい職場であり、「働きやすい事業団」への第一歩となるのではないでしょうか。（東）

第２次長期構想策定中！

当事業団は、平成19年11月に「長野県社会福祉事業団長期構想（平成19年度～24年度）」を策定しました。この長期構想は、当事業団のあり方を示す基本的な計画として位置づけ、施設福祉サービスから在宅福祉サービスへの移行（地域生活移行の推進）が進むなど一定の成果を上げています。

また、23年度からは長野県から指定管理者として信濃学園や松本あさひ学園を管理運営するなど職員の増員や事業拡大が図られました。

このような動きの中、現長期構想が24年度をもって終了することから、これまで実施してきた事業の成果や課題を踏まえて、新たな時代に対応するため、計画を１年前倒しして、24年度からの新たな長期構想を、現在策定しているところです。

策定に当たっての特徴は、職員の意見や思いを長期構想に反映させるため、全職員を対象にアンケートを実施し、332人から回答を得て、意見を参考にしているところです。

構想の基本的方向は、「信州の自然・風土、生活習慣、食文化、季節行事等を意識し、取り入れた暮らし」、いわゆる**信州自然的暮らし**の創造を柱にして組み立てています。

現在までの策定作業は、各事業所・ブロック別ＷＧと10からなる課題別ＷＧにおいて素案をまとめており、10月末をめどに理事会で承認を得て、公表していきたいと考えております。

（林）

徒然なるままに…他の法人等とのネットワークの中から見える「福祉」を、そこはかとなく書き綴ります。

芋づる式ネットワークから生まれた焼き芋焼酎「なかなかてぇへんだ」大好評販売中!!

昨今、農業における労働力不足と、障害者における就労の場の不足を結びつける、障害者の就農に向けた取り組みが全国で進んでいます。西駒郷では創設時より授産作業の一つとして農業を取り入れており、約100ａの農地で、ネギ・じゃがいも・玉ねぎ・ナス・人参・白菜・大根・かぼちゃ・トウモロコシなど様々な作物を栽培しています。

そして、現在は焼き芋焼酎用のサツマイモ『黄金千貫』の栽培に特に力を入れています。

～企業と養護学校・福祉施設が協力し合う形作り～

「焼き芋焼酎」製造プロジェクトスタート

焼き芋焼酎「なかなかてぇへんだ」製造の発端は、池上酒店（飯島町）の池上明さん（伊那小売酒販組合理事長）が、飯田養護学校に勤務する後輩から「養護学校生はなかなか地域の成人式に呼ばれないため、卒業後に自分達で作ったお酒で成人を祝えないか？」と相談を受けたことに遡ります。

そこで、池上さんが「喜久水酒造（飯田市）」の下澤政弥専務に相談を持ちかけたところ、「生徒さんも製造工程に関わりを持てる『焼き芋焼酎』を造らないか？」との話になり、「喜久水酒造」全面バックアップのもと、長野県酒類販売株式会社が連携して、県下初となる「焼き芋焼酎」製造プロジェクトがスタートしました。

プロジェクトに西駒郷が参加

一方、西駒郷では作業種の充実と工賃アップを図るため上伊那圏域地域自立支援協議会就労支援部会の席で、上伊那地方事務所商工観光課の小山智子さんに相談したところ、長野県中小企業振興センターの土戸博次さんを紹介していただき、「焼き芋焼酎」用のサツマイモ『黄金千貫』栽培の話をいただいたのです。

こうして、芋づる式に現在南信にある2学校7施設、計9団体（平成23年3月時点）の共同参加による「焼き芋焼酎」ネットワークが構築されました。

「焼き芋焼酎」ついに販売開始!!

昨年度テスト販売するに当たり、長野県小売酒販組合連合会から行政に働きかけを行い、長野県和田恭良副知事の承諾を得て、県庁から合庁、更には市町村へと販売ルートの流れができ、小売店等含めわずか数カ月で約４０００本の売り上げを記録しました。

この時点では一部の店頭等のみの販売でしたが、リピーターも多かったことから、7月20日より一般消費者に向けて店頭販売を開始し、ご好評いただいています。

「焼き芋焼酎」の製造も3年目に入り、いよいよ本格始動しました。生産・加工に携わる利用者・生徒の腕も上がり、「焼き芋焼酎」で繋がった「ネットワーク」も「原酒」もますます熟成され深みが増していくことでしょう。今後が楽しみです。

（安田）

「焼き芋焼酎」製造の発端となった関係者紹介

喜久水酒造

芋焼酎を本格的に始めたのは８年ほど前からで、本場九州の芋焼酎とどう差別化するかを商品のポイントとしており、地産地消の形を作り上げ、地元向けの焼酎を何本も出しています。なお、下澤専務は、以前から社会福祉と深い関わりを持っており、社会福祉に企業としてどのように関わっていくかを常に考え、「売って終わりではなく、その売上の一部を社会福祉に寄附することで、利用者若しくは社会福祉関係に反映されるという循環を生み出し、更によりよい環境へと進化していく形を模索している」とのことです。

池上酒店

以前より地場産オリジナル酒に力を入れており、喜久水酒造の全面バックアップを受け、辰野町から中川村までの上伊那８市町村のそれぞれの土地で採れる芋を使用したオリジナル芋焼酎「伊那八峰」の製品化に携わっています。

また地元飯島中学校の卒業イベントとして、生徒自ら作った芋を使用した芋焼酎を成人式に再会した時に飲もうという一風変わったタイムカプセル「メモリアル焼酎」にも携わるなど精力的に活動をされています。

平成24年度 組織概要

平成24年４月１日現在

【長野ブロック】

①水内荘（みのちそう）
・施設入所支援事業（**定員40人**）、生活介護事業（**定員68人**）
・短期入所事業（**併設型6人**）

②水内荘グループホーム・ケアホームセンター
・共同生活援助・共同生活介護事業（13ホーム　**定員64人**）

③長野圏域障害者総合支援センター歩楽里（ふらり）
・居宅介護等事業
・相談支援事業、タイムケア事業　ほか

④八雲日和（やくもびより）
・就労継続支援Ｂ型事業（**定員25人**）、生活介護事業（**定員14人**）
・自立訓練（生活訓練）事業（**定員６人**）

⑤小春日和（こはるびより）
・就労移行支援事業（**定員20人**）

⑥長野市地域活動支援センターこぶし
・地域活動支援センター事業（**定員15人**）

ブロック長　宮之本一宏（水内荘所長）
副ブロック長　小島　健一（水内荘支援課長）

㉑法人本部（事務局）
・事業団が経営する各事業所の管理運営における調整
・介護福祉士等修学資金貸与事業　ほか

【障害者福祉センターブロック】

⑰長野県障害者福祉センター「サンアップル」
・障害者のスポーツ・文化活動支援事業

⑱障害者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」
・サンアップルの南信サテライト

⑲障害者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」
・サンアップルの中信サテライト

⑳障害者スポーツ支援センター佐久「サンスポート佐久」
・サンアップルの東信サテライト

ブロック長　関口　一道（障害者福祉センター所長）

【松本ブロック】

⑦信濃学園
・知的障害児施設入所事業（**定員30人**）
・短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
・施設入所支援事業（**定員１人**※）
・生活介護事業（**定員１人**※）※18歳以上対象

⑧松本あさひ学園
・情緒障害児短期治療施設（**入所30人、通所５人**）

⑨松本ひよこ
・生活介護事業（**定員21人**）、就労移行支援事業（**定員６人**）
・就労継続支援Ｂ型事業（**定員10人**）
・共同生活援助・共同生活介護事業（４ホーム　**定員23人**）
・重度障害者等包括支援事業（**定員５人**※上記再掲）

ブロック長　清水　剛一（信濃学園所長）
副ブロック長　佐藤　靖（信濃学園総務課長）
副ブロック長　小宮山紀道（松本あさひ学園治療支援課長）

【上伊那北部ブロック】

⑩ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター
・共同生活援助・共同生活介護事業（25ホーム　**定員121人**）
・居宅介護等事業

⑪伊那ゆいま～る
・生活介護事業（**定員15人**）、就労継続支援Ｂ型事業（**定員20人**）

⑫ほっとワークス・みのわ
・就労継続支援Ｂ型事業（**定員20人**）

⑬辰野町障害者就労支援センター「工房ぬくもり」
・就労継続支援Ｂ型事業（**定員20人**）

⑭辰野町地域活動支援センター
・地域活動支援センター事業（**定員20人**）

ブロック長　降籏　正章（ほっとワークスGH・CHセンター所長）
副ブロック長　埋橋　行雄（伊那ゆいま～る所長）

【上伊那南部ブロック】

⑮西駒郷（にしこまごう）
・施設入所支援事業（**定員160人**）、短期入所事業（空床型）
・生活介護事業（**定員160人**）、自立訓練（生活訓練）事業（**定員10人**）
・就労継続支援Ａ型事業（**定員20人**）、就労移行支援事業（**定員15人**）
・就労継続支援Ｂ型事業（**定員45人**）、指定特定・一般相談支援事業
・自活訓練事業

⑯上伊那圏域障害者総合支援センター「きらりあ」
・相談支援事業、障害児等療育支援事業、発達障害支援専門員配置事業
・精神障害者地域移行コーディネーター設置等事業、障害者就業・生活支援センター事業

ブロック長　原　雅章（西駒郷所長）　**副ブロック長**　滝　茂樹（西駒郷管理部長）

平成24年度 事業計画・収支予算書

【管理部門】

1　第２次長期構想の策定

事業団事業の検証と今後に向けた事業の拡充や経営方針を明らかにするため、見直しを進めてきた平成24年度から28年度〈５年間〉までの第２次長期構想を今年度早い時期に策定し、職員への周知を図ります。

2　共同生活援助・介護事業所の支援体制整備と小遣い管理の徹底

「小遣い取扱要領」の策定など管理体制の確立を図るとともに、ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンターにおいては、責任体制の明確化を図り、きめ細かな福祉サービスを提供するため二課制にします。

3　一般職職員の総合職への転換制度の実施

昨年度策定した制度に基づき、意欲を持って勤務し昇格等を希望する一般職職員の総合職転換を今年度から実施します。

4　水内荘における第２作業棟の設置

水内荘では日中活動の内容充実のため、多目的に利用できる第２作業棟を建設します。

【支援部門】

1　就労系日中活動支援事業所の新設及び生産活動の活性化

長野市豊野町に就労移行支援事業所「小春日和」を新設するとともに、新たな作業種の導入等、就労系各事業所において生産活動の活性化を図ります。

2　駒ヶ根高原ふくしセミナーの開催

当事業団ほか５団体と組織した実行委員会主催による当事者参加型セミナー「駒ヶ根高原ふくしセミナー」を10月20日、21日に駒ヶ根市、宮田村を会場に開催し、障害者の豊かな暮らしづくりの支援や福祉情報の発信に取り組みます。

3　事業団ホーム利用者の検証事業の継続実施

昨年度より、日本財団の助成金を活用し、長野大学との共同研究として、事業団ホーム利用者の暮らしの検証作業（本人の暮らし、住環境、従事者・近隣住民との関わり等）を実施しており、今年度も引き続き検証し、駒ヶ根高原ふくしセミナーにおいて報告を行います。

平成24年度 収支予算総括表（法人合算）

（単位：千円）

区分			本年度予算額	前年度当初予算額	増減
収入	就労支援事業収入		85,249	89,101	△ 3,852
	経常収入	自立支援費等収入（※注1）	1,663,023	1,590,168	72,855
		受託事業等収入	1,056,026	1,032,342	23,684
		補助事業等収入	41,227	83,757	△ 42,530
		寄附金収入	50	1,750	△ 1,700
		その他収入（※注2）	277,537	352,777	△ 75,240
		小計	3,037,863	3,060,794	△ 22,931
	施設整備等収入		64,797	192,041	△ 127,244
	財務収入	借入金収入	36,343	4,537	31,806
		積立預金取崩収入	210,950	332,687	△ 121,737
		その他の収入（※注3）	20,176	20,176	0
		小計	267,469	357,400	△ 89,931
	合計		3,455,378	3,699,336	△ 243,958

区分			本年度予算額	前年度当初予算額	増減
支出	就労支援事業支出		85,249	89,101	△ 3,852
	経常支出	人件費支出	1,978,924	1,918,369	60,555
		事務費支出	388,186	411,679	△ 23,493
		事業費支出	522,952	534,421	△ 11,469
		その他支出（※注4）	247,777	321,950	△ 74,173
		小計	3,137,839	3,186,419	△ 48,580
	施設整備等支出		154,101	323,612	△ 169,511
	財務支出	借入金元金償還金支出	19,242	18,493	749
		積立預金積立支出	18,782	26,775	△ 7,993
		その他の支出（※注5）	18,073	8,005	10,068
		小計	56,097	53,273	2,824
	合計		3,433,286	3,652,405	△ 219,119
当期資金収支差額			22,092	46,931	△ 24,839
前期末支払資金残高			413,529	426,822	△ 13,293
当期末支払資金残高			435,621	473,753	△ 38,132

注1　「経常収入」の「自立支援費等収入」は「自立支援費等収入」、「利用料収入」、「私的契約利用料収入」の合計額とした。
注2　「経常収入」の「その他収入」は「雑収入」、「受取利息配当金収入」、「経理区分間（会計単位間）繰入金収入」の合計額とした。
注3　「財務収入」の「その他収入」は、「長期貸付金回収収入」の合計額とした。
注4　「経常支出」の「その他支出」は「経理区分間（会計単位間）繰入金支出」の合計額とした。
注5　「財務支出」の「その他支出」は、「長期貸付金支出」の合計額とした。

平成23年度 事業報告

1 経営組織体制の確立

① 「ブロック体制」の導入
② 指定管理等３事業所（信濃学園、松本あさひ学園等）の運営開始
③ 一般職職員の総合職への転換制度策定
④ 事業団実務論文の募集（計９点応募　優良賞１点、佳作３点）
⑤ 西駒郷における就労継続支援A型事業の開始
⑥ 松本ひよこにおける重度障害者等包括支援事業の開始

松本あさひ学園開所式

2 管理業務の充実

① 「顧客満足度調査」実施
② 事業団倫理綱領の徹底

事業団実務論文表彰式

3 情報発信

① 事業団機関紙「やまなみ」発行（夏・冬２回　各3,500部）
② 「駒ヶ根高原ふくしセミナー」プレイベント開催

4 提供するサービスの質の向上

① 本人部会の活動の支援
② 保護者会等との新たな連携の構築

西駒郷「信州まめ匠」どら焼き製造

5 入所施設利用者の地域生活移行の推進

① 地域生活移行19人（水内荘５人、信濃学園５人、西駒郷９人）
② グループホーム・ケアホーム２箇所設置

名　称	開設日	定員	住所
あさのホーム	H24．２．１	５人	長野市
せせらぎホーム	H23．４．１	５人	駒ヶ根市

重度障害者等包括支援事業のケアホーム
波田しなのハイツ外観

6 セーフティネット機能の充実

① 信濃学園「こまくさ教室」開催による療育相談、言語療法、歯科治療の実施
② 短期入所事業の充実（水内荘5.43人／日、西駒郷2.6人／日）

プレイベントでの「ホーム等利用者検証事業中間報告会」

7 地域福祉サービス体制の整備

① 高齢者支援の方法等の検討
（退行アセスメントシートを使用し、全利用者を調査開始）
② ホーム等利用者検証事業の実施

長野大学生による
聴き取り調査の様子

平成23年度 収支決算書（法人合算）

資金収支計算書

（自 平成23年４月１日　至 平成24年３月31日）

勘定科目			予算	決算	差異
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	76,729,000	76,866,798	△ 137,798
		就労支援事業収入計(1)	76,729,000	76,866,798	△ 137,798
	支出	就労支援事業支出	78,503,000	78,949,650	△ 446,650
		就労支援事業支出計(2)	78,503,000	78,949,650	△ 446,650
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		△ 1,774,000	△ 2,082,852	308,852
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費等収入	1,341,603,000	1,372,124,873	△ 30,521,873
		利用料収入	25,000	18,792	6,208
		私的契約利用料収入	243,663,000	213,700,035	29,962,965
		受託事業等収入	1,040,533,000	1,040,528,710	4,290
		補助事業等収入	91,068,000	92,771,771	△ 1,703,771
		寄附金収入	7,050,000	7,276,146	△ 226,146
		雑収入	30,015,000	32,733,169	△ 2,718,169
		受取利息配当金収入	4,039,000	3,653,137	385,863
		会計単位間繰入金収入	174,216,000	170,751,165	3,464,835
		経理区分間繰入金収入	326,810,000	281,111,859	45,698,141
		福祉事業収入計(4)	3,259,022,000	3,214,669,657	44,352,343
	支出	人件費支出	1,900,281,000	1,823,350,911	76,930,089
		事務費支出	444,622,000	410,509,304	34,112,696
		事業費支出	538,778,000	503,757,265	35,020,735
		借入金利息支出	2,966,000	2,525,027	440,973
		経理区分間繰入金支出	400,960,000	320,508,506	80,451,494
		会計単位間繰入金支出	150,130,000	147,581,052	2,548,948
		福祉事業支出計(5)	3,437,737,000	3,208,232,065	229,504,935
	福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)−(5)		△ 178,715,000	6,437,592	△ 185,152,592
施設整備による収支	収入	施設整備等補助金収入	103,364,000	104,384,000	△ 1,020,000
		施設整備等寄附金収入	520,000	0	520,000
		固定資産売却収入	0	10,000	△ 10,000
		施設整備等収入計(7)	103,884,000	104,394,000	△ 510,000
	支出	固定資産取得支出	217,546,000	188,307,379	29,238,621
		施設整備等支出計(8)	217,546,000	188,307,379	29,238,621
	施設整備等資金収支差額(9)=(7)−(8)		△ 113,662,000	△ 83,913,379	△ 29,748,621
財務活動による収支	収入	借入金収入	24,537,000	25,210,450	△ 673,450
		積立預金取崩収入	452,687,000	423,338,345	29,348,655
		その他の収入	28,885,000	15,599,513	13,285,487
		財務収入計(10)	506,109,000	464,148,308	41,960,692
	支出	借入金元金償還金支出	19,858,000	19,795,494	62,506
		積立預金積立支出	220,367,000	219,374,572	992,428
		その他の支出	28,005,000	27,237,410	767,590
		財務支出計(11)	268,230,000	266,407,476	1,822,524
	財務活動資金収支差額(12)=(10)−(11)		237,879,000	197,740,832	40,138,168
予備費(13)			0	0	0
当期資金収支差額(14)=(3)+(6)+(9)+(12)−(13)			△ 56,272,000	118,182,193	△ 174,454,193
前期末支払資金残高(15)			418,013,000	413,242,282	4,770,718
当期末支払資金残高(14)+(15)			361,741,000	531,424,475	△ 169,683,475

注：法人合算にて資金収支計算書を表記する関係上、勘定科目は「就労支援の事業の会計処理の基準」による。

事業活動収支計算書

（自 平成23年４月１日　至 平成24年３月31日）

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増　減
就労支援事業活動収支の部	収入	就労支援事業収入	76,866,798	60,817,777	16,049,021
		就労支援事業活動収入計(1)	76,866,798	60,817,777	16,049,021
	支出	就労支援事業支出	78,670,070	60,634,355	18,035,715
		就労支援事業活動支出計(2)	78,670,070	60,634,355	18,035,715
	就労支援事業活動収支差額(3)=(1)−(2)		△ 1,803,272	183,422	△ 1,986,694
福祉事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	1,372,124,873	468,210,352	903,914,521
		利用料収入	18,792	816,209,311	△ 816,190,519
		私的契約利用料収入	213,700,035	218,152,706	△ 4,452,671
		受託事業等収入	1,040,528,710	554,733,437	485,795,273
		会館事業収入	0	5,723,358	△ 5,723,358
		補助事業等収入	92,771,771	92,811,649	△ 39,878
		寄附金収入	7,276,146	31,027,037	△ 23,750,891
		雑収入	32,733,169	19,528,031	13,205,138
		引当金戻入	38,007,507	41,158,539	△ 3,151,032
		国庫補助金等特別積立金取崩額	42,009,425	36,936,830	5,072,595
		福祉事業活動収入計(4)	2,839,170,428	2,284,491,250	554,679,178
	支出	人件費支出	1,823,350,911	1,400,298,791	423,052,120
		事務費支出	410,509,304	296,960,794	113,548,510
		事業費支出	358,367,265	450,005,033	△ 91,637,768
		減価償却費	116,286,563	104,812,672	11,473,891
		引当金繰入	28,932,938	27,085,630	1,847,308
		福祉事業活動支出計(5)	2,737,446,981	2,279,162,920	458,284,061
	福祉事業活動収支差額(6)=(4)−(5)		101,723,447	5,328,330	96,395,117
	収入	受取利息配当金収入	3,653,137	5,408,605	△ 1,755,468
		会計単位間繰入金収入	170,751,165	90,996,399	79,754,766
		経理区分間繰入金収入	281,111,859	289,291,704	△ 8,179,845
		事業活動外収入計(7)	455,516,161	385,696,708	69,819,453
	支出	借入金利息支出	2,525,027	2,555,566	△ 30,539
		経理区分間繰入金支出	320,508,506	291,460,713	29,047,793
		会計単位間繰入金支出	147,581,052	89,933,871	57,647,181
		事業活動外支出計(8)	470,614,585	383,950,150	86,664,435
	事業活動外収支差額(9)=(7)−(8)		△ 15,098,424	1,746,558	△ 16,844,982
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)			84,821,751	7,258,310	77,563,441
特別収支差額の部	収入	施設整備等補助金収入	104,384,000	45,740,000	58,644,000
		固定資産売却収入	10,000	0	10,000
		特別収入計(11)	104,394,000	45,740,000	58,654,000
	支出	固定資産売却原価・処分損	3,931,056	85,412	3,845,644
		国庫補助金等特別積立金積立額	64,450,010	45,740,000	18,710,010
		特別支出計(12)	68,381,066	45,825,412	22,555,654
	特別収支差額(13)=(11)−(12)		36,012,934	△ 85,412	36,098,346
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)			120,834,685	7,172,898	113,661,787
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(15)		1,212,026,613	1,383,020,159	△ 170,993,546
	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)		1,332,861,298	1,390,193,057	△ 57,331,759
	基本金取崩額(17)		0	0	0
	基本金組入額(18)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(19)		374,038,850	85,874,700	288,164,150
	その他の積立金積立額(20)		231,472,155	264,041,144	△ 32,568,989
	次期繰越活動収支差額(21)=(16)+(17)−(18)+(19)−(20)		1,475,427,993	1,212,026,613	263,401,380

注：法人合算にて事業活動収支計算書を表記する関係上、勘定科目は「就労支援の事業の会計処理の基準」による。

貸借対照表

（平成24年３月31日現在）

資産の部			
科　　目	当年度末	前年度末	増　減
流動資産	1,201,582,259	755,054,371	446,527,888
現金預金	549,889,899	363,714,015	186,175,884
未収金	604,977,455	366,414,296	238,563,159
貯蔵品	180,620	0	180,620
立替金	4,841,504	552,408	4,289,096
前払金	586,360	385,300	201,060
会計単位間貸付金	28,668,349	22,000,000	6,668,349
経理区分間貸付金	10,300,000	0	10,300,000
仮払金	1,328,200	1,458,060	△ 129,860
原材料	809,872	530,292	279,580
固定資産	2,916,818,864	2,895,664,980	21,153,884
固定資産（基本財産）	714,330,493	676,417,041	37,913,452
建物	664,314,595	626,401,143	37,913,452
土地	35,015,898	35,015,898	0
基本財産特定預金	15,000,000	15,000,000	0
その他の固定資産	2,202,488,371	2,219,247,939	△ 16,759,568
建物	28,054,939	8,146,415	19,908,524
構築物	4,088,057	4,123,798	△ 35,741
機械及び装置	19,201,083	21,457,825	△ 2,256,742
車輌運搬具	31,735,022	27,385,381	4,349,641
器具及び備品	33,133,194	39,626,078	△ 6,492,884
建設仮勘定	60,053,700	11,856,200	48,197,500
権利	483,780	519,156	△ 35,376
ソフトウエア	5,980,337	7,340,475	△ 1,360,138
長期貸付金	395,745,640	242,842,752	152,902,888
退職給与積立預金	409,876,023	423,075,601	△ 13,199,578
その他の固定資産	408,529,466	440,627,942	△ 32,098,476
貸付原資積立預金	255,439,588	311,319,308	△ 55,879,720
人件費積立預金	185,167,948	285,167,948	△ 100,000,000
全事協退職年金共済預け金	97,653,605	93,528,596	4,125,009
施設整備等積立預金	267,345,989	302,230,464	△ 34,884,475
資産の部合計	4,118,401,123	3,650,719,351	467,681,772

資産の部			
科　　目	当年度末	前年度末	増　減
流動負債	669,347,912	341,281,797	328,066,115
未払金	621,172,523	311,749,131	309,423,392
預り金	6,211,287	4,274,892	1,936,395
前受金	2,995,753	2,638,574	357,179
会計単位間借入金	28,668,349	20,000,000	8,668,349
経理区分間借入金	10,300,000	2,000,000	8,300,000
仮受金	0	619,200	△ 619,200
固定負債	700,549,243	704,208,856	△ 3,659,613
設備資金借入金	189,847,615	184,036,159	5,811,456
長期運営資金借入金	3,172,000	3,568,500	△ 396,500
退職給与引当金	409,876,023	423,075,601	△ 13,199,578
全事協退職年金共済引当金	97,653,605	93,528,596	4,125,009
負債の部合計	1,369,897,155	1,045,490,653	324,406,502
純資産の部			
基本金	33,400,000	33,400,000	0
国庫補助金等特別積立金	471,668,750	447,668,165	24,000,585
その他の積立金	768,007,225	910,573,920	△ 142,566,695
貸付原資積立金	255,439,588	311,319,308	△ 55,879,720
人件費積立金	185,167,948	285,167,948	△ 100,000,000
施設整備等積立金	267,345,989	302,230,464	△ 34,884,475
建設積立金	60,053,700	11,856,200	48,197,500
次期繰越活動収支差額	1,475,427,993	1,212,026,613	263,401,380
次期繰越活動収支差額	1,475,427,993	1,212,026,613	263,401,380
（うち当期活動収支差額）	120,834,685	△ 34,144,758	154,979,443
純資産の部合計	2,748,503,968	2,605,228,698	143,275,270
負債及び純資産の部合計	4,118,401,123	3,650,719,351	467,681,772

人事異動

新規採用

（平成24年4月1日付）

水内荘　支援員／井浦麻梨（支援課）
小春日和　支援員／荒井弘一
信濃学園　支援員／牛丸幸一（支援課）、志水裕紀子（同）、井上真美（同）
松本あさひ学園　支援員／小林千織（治療支援課）
松本ひよこ　支援員／荒川俊、長尾亜希子
辰野町地域活動支援センター　支援員／岩垂真紀
西駒郷　看護師／小牧さおり（総務課）、支援員／増田友里恵（あすなろ支援課兼駒ヶ根日中支援課）、丸山奈美子（ひまわり支援課兼駒ヶ根日中支援課）、石川彬（さくら支援課兼駒ヶ根日中支援課）、下平直紀（同）、髙橋直貴（同）、中村陽一（まつば支援課）
上伊那圏域障害者総合支援センター　支援員／江口ひかる

事業所間異動等

（平成24年4月1日付）

事務局　事務局長／伊藤敏（再）、主事／東晋平（サンアップル指導員）
水内荘　所長／宮之本一宏（兼（再））、専門幹兼栄養士／板倉吉子（水内荘支援係長兼栄養士）、専門員／柳沢敏博（西駒郷専門員）、支援員／真鍋彰吾（事務局主事）
水内荘グループホーム・ケアホームセンター　所長／宮之本一宏（兼（再））、専門幹／小島健一（兼）、主任支援員／髙橋淑絵（水内荘支援員）、看護師／阿藤広美（兼）
長野圏域障害者総合支援センター歩楽里　支援員／新井孝尚（兼）
八雲日和　主任支援員／冨田久未子（水内荘支援員）
小春日和　所長／善哉健次（兼）、主任支援員／髙橋淑絵（兼）、支援員／仲田瞳（八雲日和主事兼支援員）
長野市地域活動支援センターこぶし　所長／宮之本一宏（兼（再））、支援員／新井孝尚（兼）
信濃学園　専門幹／小倉正浩（県からの派遣職員）
松本あさひ学園　心理・支援員／宮入晃二（辰野町障害者就労支援センター心理・支援員）、支援員／漆戸利樹（松本ひよこ支援員）、清野恵美子（県からの派遣職員）
ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター　支援Ⅱ課長／北沢和明（ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター専門員）、主任支援員／増田佳奈江（西駒郷主任支援員）、落合尚子（同）、支援員／吉原一善（兼）、後藤瑞穂（西駒郷支援員）
伊那ゆいま～る　専門員／有賀美希恵（伊那ゆいま～る主任支援員）
ほっとワークス・みのわ　専門員／三澤淳子（ほっとワークス・みのわ主任支援員）
西駒郷　管理部長／滝茂樹（再）、地域移行推進課長／宮下敦志（兼）、係長／濱田琢也（西駒郷主任）、自活訓練係長／藤原香澄（西駒郷専門員）、わーく西駒課長／尾野成彦（兼）、主任支援員／遠藤清美（ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター主任支援員）
上伊那圏域障害者総合支援センター　支援員／埋橋小百合（伊那市からの派遣職員）、伊藤美代子（同）、春日聡（西駒郷支援員）
障害者福祉センター　所長／関口一道（サンアップルスポーツ課長）、係長／山﨑珠美（サンアップル主任指導員）

（平成24年8月1日付）

障害者福祉センター　指導員／矢﨑萌斗（サンスポート駒ヶ根指導員）

派遣期間終了

（平成24年3月31日付）

信濃学園　専門員／大月美枝子（松本児童相談所へ）、福嶋綾子（波田学院へ）、支援員／小笠原雄二（同）、竹村眞史（総合リハビリテーションセンターへ）、専門員／原和彦（同）
松本あさひ学園　支援員／深井麻衣子（木曽保健事務所へ）、柳澤正美（中央児童相談所へ）、山本友理（松本児童相談所へ）

（平成24年6月12日付）

信濃学園　専門員／宮原英昭（障害者支援課へ）

退職

（平成24年3月31日付）

事務局　事務局長／伊藤敏
水内荘　専門員／原さと子、支援員／山越幸世
西駒郷　次長兼管理部長／滝茂樹、支援員／橋本みよし、向山洋子、中澤陽子
上伊那圏域障害者総合支援センター　支援員／新谷裕香
障害者福祉センター　所長／寺沢博文

（平成24年5月31日付）

西駒郷　主任支援員／遠藤清美

（平成24年8月31日付）

水内荘グループホーム・ケアホームセンター、小春日和　主任支援員／髙橋淑絵

（兼）他職との兼務職員／（再）退職後、再雇用職員等

職員採用のお知らせ

長野県社会福祉事業団　平成24年度職員採用試験

■総合職　試験日／平成24年9月16日（日）
■一般職（支援員・看護師）試験日／平成24年9月30日（日）
■一般職（指導員）試験日／平成24年10月1日（月）

※詳細は当事業団ホームページからご確認ください。

プレゼント

西駒郷　「えこ宮田」
西駒郷宮田支援事業部長
矢花　尚利　からのメッセージ

「焼き芋焼酎『なかなかてぇへんだ』」は文字通り芋を焼いて製造された限定商品です。焼き芋特有の香ばしさと甘みが際立つ、味わいも香りも上品なクールな一品です。
是非ご賞味下さい。

「西駒郷『えこ宮田』」の「焼き芋焼酎『なかなかてぇへんだ』」を抽選で５名の方にプレゼントいたします。
事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①**郵便番号**、②**住所**、③**氏名**、④**電話番号**を記載のうえメールまたは郵便はがきにて法人本部（事務局）までお寄せ下さい。（10月末締切り）
なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。（プレゼントの発送は11月頃を予定しています）

トピックス

駒ヶ根高原ふくしセミナー開催

当事業団を含む県内6団体で組織された実行委員会主催により「第1回　駒ヶ根高原ふくしセミナー」を10月20日（土）～21日（日）の2日間、長野県駒ヶ根市・宮田村で開催します。当事者参加型セミナーとして「学ぶ」「交わる」「楽しむ」をコンセプトとした、各種報告会・講演会のほか、駅伝大会や料理コンテスト、夕食交流会を行います。定員は500人、参加費は無料です。（ただし宿泊費及びイベント参加費は実費）
イベント詳細及び参加申し込み等につきましては当事業団ホームページからご確認ください。

内容に関するお問い合わせは
「駒ヶ根高原ふくしセミナー実行委員会事務局」（☎ 026-228-0337）へ。

編集後記

表紙面でも紹介しました「世紀の天体ショー」。
直前の「日食グラス」人気は本当に凄まじく、コンビニやホームセンターを10数軒ハシゴして何とかＧＥＴしました。
さて、当事業団では「信州自然的暮らしの創造」をコンセプトに第２次長期構想を策定中です。
「金環日食」や「金星の太陽面通過」の周期に比べれば、人の一生は本当に一瞬かもしれませんが、長期構想の策定を通じ、利用者も職員も信州の自然を満喫しながら、豊かな人生を送ることができればと思います。（中村）

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。

社会福祉法人
長野県社会福祉事業団
〒380-0928　長野市若里七丁目１番７号　長野県社会福祉総合センター５Ｆ
tel：026-228-0337　fax：026-228-0310
URL：http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/